

大腸内視鏡検査とその流れ

<大腸内視鏡検査とは>

○ 大腸の構造と機能

大腸は長さ約 1.5~1.8m、直径約 5cm の腸管で（個人差がある）、主に水分などを吸収して糞便を形成する役割を果たしています。

大腸は盲腸、結腸、直腸に区分され、結腸はさらに上行結腸、横行結腸、下行結腸、S状結腸に分けられます（図1）。

○ 大腸内視鏡検査の適応について

下表（表 1）のような症状のある方は、大腸検査を強くおすすめ。大腸がんの罹患率は上昇しており、一般的に 40 歳以上で大腸がん死亡率及び罹患率が上昇するとされます。これまで大腸内視鏡検査を受けたことのない方は、40 歳を契機に大腸内視鏡検査を受けましょう。

大腸内視鏡検査の適応（表 1）

- ・便潜血陽性
- ・右記の症状を有する方： 血便あるいは下血、下痢と便秘の繰り返し、便が細い、便が残る感じがする、お腹が張る、腹痛、貧血、原因不明の体重減少
- ・お腹の調子が悪い方

○ 大腸内視鏡検査の実際

後述の前処置により腸がきれいになったら内視鏡検査を行います。検査室で左横向きに寝ていただき、お尻から直径約 12 mmの細長い内視鏡（図 2）を挿入します。そのまま内視鏡を挿入していくと腸管は伸展され痛みを感じます。特に S 状結腸は屈曲が強いいため、最も痛みを感じやすい部分となっています。そのため、腸管を伸展させないよう、ジャバラのように腸管を折りたたみながら挿入を行います。

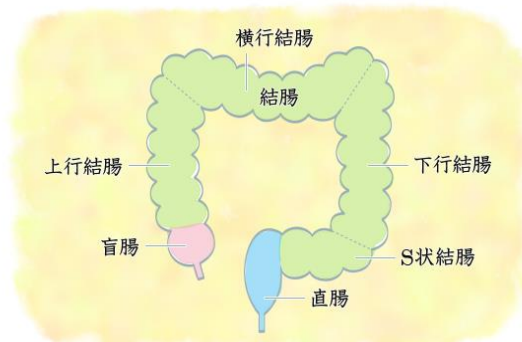
一般的に 10 分程度で大腸の一番奥の盲腸に到達します。その後、内視鏡を徐々に抜きながら腸全体を観察します。病変があった際には色素法、NBI 観察、拡大観察をして生検などの処置を行います。小さなポリープやがんは、内視鏡で切除することも可能です。

○ 鎮静下内視鏡検査について

一般的に疼痛を感じやすい条件として、女性、腹部手術後の方、S 状結腸に憩室が多発している方などがあげられます。また、検査に対する不安の強い方もいらっしゃると思います。

そのような方に対しては、鎮静剤（うとうとした状態で検査を受けられる）や鎮痛剤（痛みを軽減する）の使用により、苦痛を軽減した内視鏡検査も行っています。ご遠慮なくご相談ください。

大腸の構造（図 1）



大腸内視鏡（図 2）



<大腸内視鏡検査の流れ>

大腸内視鏡検査は大腸を空にすることが大切です。大腸内に便や食物残渣があると正確な診断ができず、病気を発見することが難しくなります。

精度の高い大腸内視鏡検査を受けていただくためのポイントは、以下のとおりです。

○ 検査前

- ・2～3日前から便通を整えておきましょう。
- ・検査前日の食事は下記（図3）の食品をさけて3食召し上がってください。
- ・夕食は20時頃までに済ませてください。この後、**検査終了までお食事はできません。**
- ・食物繊維の多い野菜、キノコ、海藻、こんにゃく、玄米、小さい種のある果物などは控えてください。油っぽいものは消化が遅く、乳製品や食物繊維の多いものは大腸内に残りやすい食品です。
- ・水分は積極的にとりましょう。
- ・就寝前に外来で渡した下剤をたっぷりの水でお飲みください。

消化の悪いもの、控えていただきたい食品（図3）



○ 検査当日

- ・検査まで絶食ですが、水又はお茶は自由におとりください。
下剤（モビプレップ）10（図4）と水又はお茶0.50を飲みます。
便は色がついていてもかまいませんが、**にごりのない水様便で便器の底がきれいに見える状態にします。**
- ・看護師による便チェックでOKになりましたら検査可能です。
※ 検査は便がきれいになった方から順番に始めます。

検査は13時から開始となります。

下剤(モビプレップ) (図4)



○ ご自宅で下剤を飲まれることを希望される方

周りの人に気兼ねなく下剤を飲むことができ、家のトイレでゆっくり過ごせるので、ご自宅で下剤を飲む方も増えています。便がきれいになってお腹がおちついてから来院していただきますので、待ち時間が少なく検査ができるのも利点です。ただし、**初めて大腸内視鏡検査を受けられる方、便秘症、糖尿病、腎疾患等**の方はクリニックで飲んでいただきます。※ 詳しくは外来でお尋ねください。

○ 注意が必要な薬を内服されている方

- ① 心疾患・高血圧・喘息・てんかん・精神疾患などの薬をお飲みの方は、いつもどおり内服してください。
- ② 抗凝固薬、抗血小板薬を内服中の方は、薬の服用の継続について主治医にご確認ください。
- ③ 糖尿病の方は低血糖に陥りやすいので、血糖降下薬、インスリン注射などは使用しないでください。
※何かご不明な点がありましたらお気軽にお尋ねください。

検査の予約やご相談は、Tel.03-3668-6806 へご連絡ください。



今後もニュースレターを発行し、皆様の健康管理に少しでも参考になればと思います。ぜひ皆様からのご意見、ご感想をお寄せください。今後もこのニュースレターやホームページ等を通じ、役立つ情報を発信してまいります。今後ともよろしく願いいたします。

公益財団法人早期胃癌検診協会 事務局
Tel.03-3668-6803/E-mail:mail@soiken.or.jp